

《入選》

学ばせてもらった「命の大切さ」

彦根総合高等学校 1年

はせがわしき
長谷川 詩姫 さん

私は小学生のときに心臓病を持つ女の子から「命の大切さ」についてたくさん学びました。ですが私はあたられた命や人生を精一杯大切にできているとは言えません。私は何か嫌な事やつらい事があればすぐにこの世から消えてしまいたい、なんで私なんかが生きているんだろうと思ってしまう。そんな事を思っではいけないと分かっているのにどうしても思ってしまうことがあります。なので私は自分の命を精一杯大切にできているとは言えません。

小学一年生のときに心臓病を持つ女の子と出会いました。私は女の子と話したり、遊んだりすることがたまにありました。女の子の体調が良くて、忙しくない日ということの限られた日にだけ遊ぶことができ、私はこの日がとてもうれしくて、楽しかったです。女の子はとても優しく、真面目で頑張り屋さんでした。そんな女の子のことが私は大好きでした。

私が小学四年生のある日のことです。急ぎよ全校集会が開かれることになりました。その話の内容は心臓病を持つ女の子が亡くなられたという話でした。女の子は小学六年生でした。私はそれを聞いたとき、とても悲しくて涙が出ました。本当に急な話でとてもビックリしました。亡くなったという話をずっと信じられずにいました。私

は人生最大の悲しみを味わいました。

それから何日後かに女の子のお母さんが小学校へ話をしに来て下さいました。今ある命を精一杯生きてほしい、命を大切にしてほしいなどの「命の大切さ」についての話をたくさんして下さいました。私はこの話を聞いてからは今よりもっと命を大切にしようと思いました。亡くなった女の子の分まで頑張って生きようとも思いました。

私は心臓病で亡くなった女の子と出会ったことで「命の大切さ」についてたくさん学ぶことができました。これからどんなつらい事があっても、元気で生まれてこれたことに感謝し、生きたくても生きられない人だっているんだということもしっかりと理解してこれから精一

杯生きていきたいと思っています。